

「秋田県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定」の締結について

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、秋田県と「秋田県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、本協定に基づき、店舗新築時などの県産材の積極的な利用や情報発信を通じて、地域の林業・木材産業の活性化および地域のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

記

1 協定の名称

秋田県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定

2 協定の概要

当行は、建築物や什器・備品について、県産材を積極的に利用するほか、木造化・木質化の取組みを広く情報発信することにより、県民の皆さまやお取引先企業等への県産材利用の促進をはかります。

秋田県は、当行の取組みの情報発信を支援するとともに、活用可能な補助制度の情報提供や、木材利用に関する技術的な助言などを行います。

3 当行の主な取組内容

- 店舗新築時に秋田県産材を積極的に利用すること
- 什器や備品などを新たに調達する際に秋田県産木製品を積極的に導入すること
- 木造化や木質化の取組みについて、広く情報発信を行うこと

4 協定締結日

2026年7月2日（木）

5 関連する実績等

当行では、これまでも店舗の木造化、木質化に積極的に取り組んでまいりました。本協定に基づく秋田県との連携により、取組みをさらに加速させていくとともに、県産材の利用拡大による地域内経済循環の促進や、地域のカーボンニュートラル実現に一層貢献してまいります。

対象店舗	内容
田沢湖支店	2024年4月に木造建築店舗として新築建替え 「第5回ウッドファーストあきた木造・木質化建築賞」の「木造B部門」の最優秀賞を受賞
本店（1階エントランス）	2026年6月に本店受付後方の大理石の壁面の一部を木質化 秋田プライウッド株式会社様（秋田県が本協定を締結した2例目の事業者）が製造した特注合板を使用
大館支店	2027年5月の新築移転に向けて現在建築中 建物は鉄筋コンクリートと木造のハイブリッド構造とする予定

【県産材を活用した田沢湖支店の内観】



6 協定締結式の様子



鈴木知事と芦田頭取が署名



木質化した本店1階エントランスにて
(以上)